

(幸手市の公共交通の指標)

(参考) 達成状況の評価指標 (候補) について

計画を進めるに当たっては、PDCA (Plan・Do・Check・Action) のサイクルによる継続的な取り組みを行い、必要に応じて適宜改善を図っていきます。取り組みの実施状況、目標の達成状況については、各年度及び最終年度に確認・検証します。



以下の指標は候補であり、今後、選定します。目標値は、関係者と調整の上、設定します。

めざす姿の実現に向けた「5つの方向性」に対し、達成状況を測るための“ものさし”(目安)として、評価指標と目標値を設けます。

方向性 1

将来にわたり、地域にふさわしい公共交通を持続します

●達成イメージ：市営の公共交通を、持続的に運行している。

《評価指標 (候補) 》

- ・指標・候補① 市営の公共交通の運行経費 (市予算の確保)
- ・指標・候補② 市内循環バスの利用客数計

●達成イメージ：鉄道・路線バスの日常的な利用客を確保できている。

《評価指標 (候補) 》

- ・指標・候補③ 幸手駅の乗車人員 (定期券利用客)
- ・指標・候補④ 路線バスの乗降客数 (幸手市内)

●達成イメージ：市営の公共交通が、効率的・安定的に運営できている。

《評価指標 (候補) 》

- ・指標・候補⑤ 市内循環バスの収支率
- ・指標・候補⑥ 市内循環バスの1便当たりの乗車人数

方向性 2

高齢化等を見すえ、市内の外出手段を確保し、便利にする調整・工夫をします

●達成イメージ：公共交通を利用した外出が増えている。

《評価指標（候補）》

- ・指標・候補⑦ 市内循環バスの利用客数計【再掲】
- ・指標・候補⑧ 幸手駅の乗車人員（幸手駅）
- ・指標・候補⑨ 路線バスの乗降客数（幸手市内）【再掲】
- ・指標・候補⑩ タクシーの実車運行回数（幸手市内）

●達成イメージ：公共交通が有効に活用されている。

《評価指標（候補）》

- ・指標・候補⑪ 市内循環バスの1日乗車券の販売件数

方向性 3

利用時のわかりやすさ、やさしさを充実します

●達成イメージ：公共交通のわかりやすさに満足している市民が増えている。

《評価指標（候補）》

- ・指標・候補⑫ 市内循環バスの「案内」に関する満足度（アンケート結果）

方向性 4

クルマ中心の外出スタイルの見直し、公共交通を利用する意識の醸成を図ります

●達成イメージ：モビリティ・マネジメントを主旨とする取り組みが着実に進んでいる。

《評価指標（候補）》

- ・指標・候補⑬ モビリティ・マネジメントに関する会合・イベントの開催回数

●達成イメージ：使える時には公共交通を使うという外出スタイルが徐々に広がっている。

《評価指標（候補）》

- ・指標・候補⑭ 市内循環バスを全く利用しない市民の割合（アンケート結果）

方向性5

まちの賑わい創出に貢献する方策を
模索します

●達成イメージ： まちの賑わいに貢献する公共交通の取り組みが着実に行われている。

《評価指標（候補）》

・指標・候補⑮ 公共交通が連携した周遊・回遊の企画の件数

●達成イメージ： 公共交通を利用して来訪、周遊・回遊する人が増えている。

《評価指標（候補）》

・指標・候補⑯ 幸手駅の降車人員（定期外計）

・指標・候補⑰ 桜まつりに合わせた臨時バスの乗降車人数